



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会社名 チョドローテ株式会社
代表者名 代表取締役社長 平田晴久
(コード番号 5387 JASDAQ)
問合せ先 取締役管理本部長 種田貴志
(TEL 059-364-5215)

業績予想の修正および特別損失の発生に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 30 年 2 月 15 日に公表しました業績予想を下記の通り修正するとともに、平成 30 年 3 月期決算において見込まれる特別損失の計上についてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	32,000	700	700	700	40.58
今回修正予想 (B)	31,616	66	204	239	13.87
増減額 (B - A)	△384	△634	△496	△461	-
増減率 (%)	△1.2	△90.6	△70.9	△65.9	-
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 3 月期)	30,861	587	577	429	24.79

2. 修正の理由

ケイ酸カルシウム板を製造する子会社において、需要期を迎える秋口に生産設備のトラブルにより生産力を落とした結果、修繕等コスト増加が生じました。

また、ケイ酸カルシウム板を子会社より仕入れて顧客に販売する親会社においても、納期遅れ等が石膏ボードの営業にも影響を及ぼす要因となり、平成 30 年 3 月期連結業績予想につきましては、営業利益及び経常利益につきまして公表した予想を下回る見込みであります。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、経常利益の見直しに加えて、今回発生する特別損失(下記 3.「特別損失の発生について」)の計上により、公表の予想を下回る見込みであります。

3. 特別損失の発生について

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、連結子会社において固定資産の一部について収益性の低下等による減損の兆候が認められたため、その認識・測定を行いました結果、265 百万円を減損損失として特別損失に計上する見込みです。

また、単体決算において、減損を計上した当該連結子会社に関して回収可能性を検討いたしました結果、貸倒引当金 338 百万円を特別損失に計上する見込みであります。

※上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上